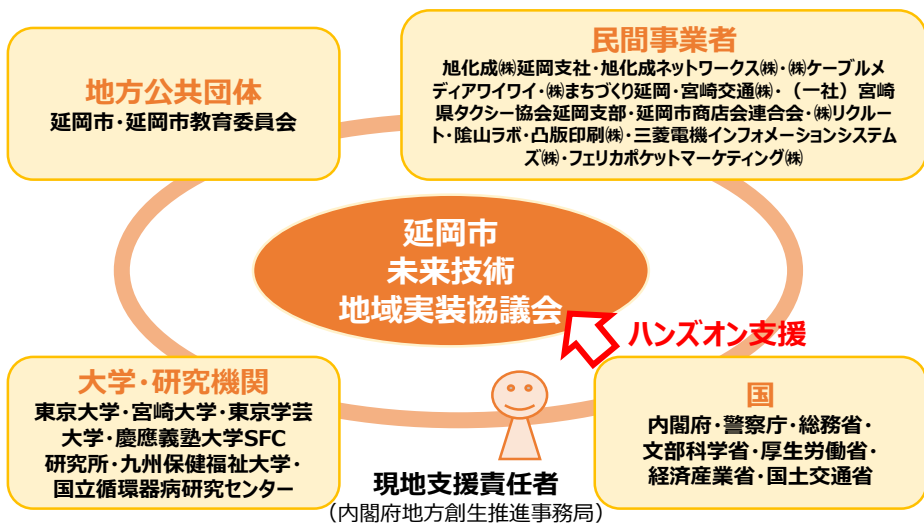


課題

- 高い質の教育を担保できない地方都市は、単身赴任を選択されやすく、高度人材の確保が難しい
- 公共交通の利便性を高めていかなければ、運転免許の返納が難しい
- 持続可能な地域づくりのため市民がより積極的にまちづくりに参加する仕組みが必要



推進体制



課題解決に向けた取組

知力・体力・人間力を育む「世界一の子育て・教育のまち延岡」事業、行動パターン分析による交通網を最適化事業（マイカー卒業社会の実現）及び「逃げ遅れゼロ」の避難対策構築事業、行動変容・行動誘発に寄与する地域ポイント活用サービス事業

- 知力・体力・人間力を育む「世界一の子育て・教育のまち延岡」事業
 - ・ 「延岡こども未来創造機構」を設立し、学びの「ログ」化等により児童生徒一人ひとりの到達度に合った学習ができる環境を整備
 - ・ 児童生徒のバイタルデータから体調の変化や心の不調などを把握し、学校における不登校児童の兆候を把握（医療×教育データ連携）
- 行動パターン分析による交通網を最適化事業（マイカー卒業社会の実現）及び「逃げ遅れゼロ」の避難対策構築事業
 - ・ 行動パターン分析によるバス路線・時刻表・停留所等の最適化
 - ・ シェアサイクル、デマンド交通、自動運転等の組合せによる交通ネットワークの構築により、バスでカバーできないニーズに対応
- 行動変容・行動誘発に寄与する地域ポイント活用サービス事業
 - ・ 健康に寄与する活動、ボランティア活動、SDGsに貢献する行動、健康づくりに関する活動等に対してポイントを付与しながら、行政の負担を軽減しつつ、市民の力で社会をより良くするためのキャッシュレスプラットフォームを構築



図1：延岡こども未来創造機構 図2：行動パターン取得アプリ 図3：健康長寿ポイントアプリ

2021年度の
主な取組

- 「(仮称)延岡こども未来創造機構」の設立に向け、同機構での実施を予定している各種事業をスタートアップ事業として試行的に実施
- 公共交通網の最適化に向け、スマートフォンアプリ「MITHRA 3」により収集した市民の行動パターンデータ（1,078名分）分析実施
- 地域ポイント活用サービス事業のプラットフォームとなるスマートフォンアプリ「のべおかCOIN」を8月に導入し、のべおか健康マイレージアプリやボランティア・SDGsポイントとの連携を行う